

地図帳を  
使いこなそう

## パソコンソフト を使ってみよう

東京都千代田区立お茶の水小学校 栗原由紀子

### 1 はじめに

4年社会科の学習対象は身近な地域ですが、3年生とは異なり、基本的な範囲は子どものくらす都道府県に広がります。そのため、直接的な観察や調査がやや難しくなってきます。

そこで、活用したいのが地図です。地図は、調べたい目的によってその地域の様々な情報を絵やデータなどで提供してくれる便利なものです。また、子どもが調べたことを地図にまとめていくことによって、地域の特徴を点ではなく線や面としてとらえることができるようになるのです。

しかし中には、地図帳にはいろいろなものが書き込まれていてわかりにくい、調べるのが面倒くさいなどと敬遠してしまう子どもがいます。

地図のよさに子ども自身が気づけるよう、様々な場面で地図を取り入れた授業を展開し、地図によって問題解決していく力を子どもに身に付けさせることが大切です。

帝国書院の白地図ソフト『ハイマップマイスター』(2007年3月発売)は、教師や子どもが必要に応じて情報を選んで地図上に表示したり、目的に応じた地図を自ら作ったりすることができる大変便利で楽しいソフトです。

そこで今回は、4年生における社会科学習の場面での活用法をいくつかご紹介します。

### 2 健康・安全な暮らしを守る ～上下水道の働き～

☆ここでつかえる！

「飲み水の元になる川や山を探そう。」

東京都とその周辺の白地図を選択し、河川と山を表示します。

人口の多い東京都では、都内にある水源林やダムだけでは飲料水が不足してしまうため、周辺の県の協力を得て飲み水を確保しています。そのことを調べるときに本ソフトを活用するとよいでしょう。

山や河川のある東京周辺地域をわかりやすく地図上に表示できるため、子どもは自ら、飲料水を確保するための他地域とのつながりに気づくことができます。



『楽しく学ぶ小学生の地図帳(初訂版)』p.36



### 3 「地域の開発 ～江戸に水がやってきた～」

☆ここでつかえる！

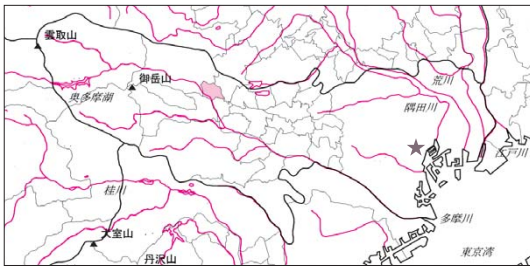
「上水をどこから引いてきたのか調べよう。」

東京都の白地図を選択し、河川と縮尺を表示します。

江戸幕府開府後、急激な人口増加によって江戸は深刻な水不足に見舞われました。そこで、開通したのが玉川上水です。40km以上

に及ぶ上水をわずか2年間で完成させた玉川兄弟たち。その工事の様子を調べる際に、本ソフトを活用して上水の経路や距離を調べるとよいでしょう。

子ども自身が、水源地である羽村市を探して色で塗ったり、縮尺を使って距離を測ったりすれば、ソフトを操作しながら具体的な位置関係や距離を把握することができます。



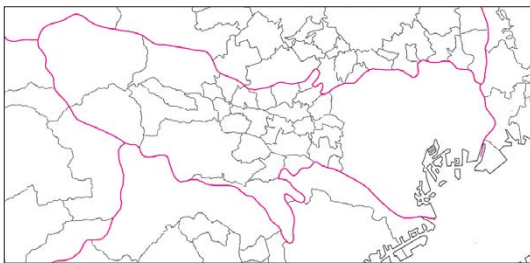
0 20km

## 4 わたしたちの都のようす

### ☆ここでつかえる！

東京都の白地図を選択し、県境の線を目立つように表示します。

まずは、自分たちのくらす東京都に親しみをもつために、東京都の形を使って様々なものをイメージする活動を取り入れるとよいでしょう。東京都の場合、魚の形に見えたり、向きを変えて大根にたとえたりする子どもがいて楽しく活動できます。



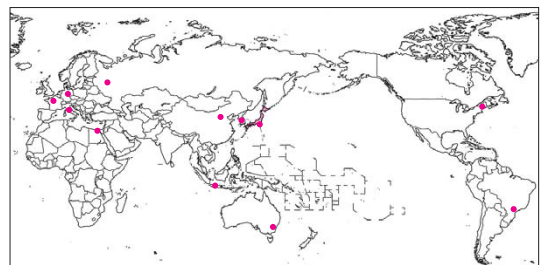
次に、交通の特色を調べるために東京都の白地図を選択し、道路や鉄道を表示します。すると、両方とも都心から放射線状に様々

な地域に移動できる線が浮かび上がります。この線をたどっていくことによって、他地域とのつながりに気づいたり、東京都が運輸の面でも中心的な役割を果たしていることに気づいたりできます。この活動は、5年生の社会科へのつながりに配慮する点でも大切な学習です。



そして、東京都が世界とも様々なことにつながっていることを調べるために、世界地図を活用した作業を取り入れると効果的です。

身近なものや文化的な交流、スポーツや政治などでつながりがあることを調べ、白地図上で該当する国を塗ったり、記号で追加したりしていくと、東京と世界とのつながりが一目でわかる地図を子ども自身が作ることができます。



白地図に、東京都と姉妹友好都市11都市をさがして、印をつけた図  
 東京都の姉妹友好都市：ニューヨーク市、北京市、パリ市、ニュー・サウス・ウェールズ州、ソウル特別市、ジャカルタ特別市・サンパウロ州、カイロ県、モスクワ市、ベルリン市、ローマ市

## 5 おわりに

今回の事例は、これまでも授業の中で地図帳を使ってきた場面ですが、『ハイマップマイスター』の活用によって、より主体的な学習指導を展開することができるでしょう。